

## 2017年度公衆衛生学 各講義の学習目標(最終版)

公衆衛生学最終試験のための学習ポイントです。講義内容を良く復習するように。

月日	項目	課題
10月2日	生涯を通じた健康づくり:高齢期① (高齢社会:総論)	加齢と老化の特徴について具体的に説明できる。 高齢期における健康指標について説明できる。 老年人口の割合の推移および、その課題を説明できる。
10月2日	特別講義: 地域の医療機関から見える地域医療・公衆衛生の課題ー相馬地方での放射線に関わる6年間の活動から	現状の分析について、内部被ばくの事例を用いて説明できる。 地域の人々に還元する方法について、内部被ばくの事例を用いて説明できる。 震災後の福島県における糖尿病と高脂血症の特徴を説明できる。
10月6日	公衆衛生学の基礎:総論 (公衆衛生学とはどんな学問か?)	公衆衛生の基盤をWHO憲章、日本国憲法から説明できる。 近代における感染症の死亡率の減少の要因について、例を用いて公衆衛生学的に説明できる。 「古之善為医者」について、臨床、公衆衛生学での視点で説明できる。
10月6日	公衆衛生学特論:がんの疫学	がん対策基本法について、その概略が説明できる。 がん検診のもたらす利益と不利益について説明できる。 がん予防とヘルスプロモーションに関連して、生活習慣改善を促すための方策について具体的に論じることができる。
10月13日	生涯を通じた健康づくり: 周産期・乳幼児期	妊娠後に受けられる主な母子保健サービスについて説明できる。 妊婦および乳幼児の受動喫煙による影響を説明できる。 疫学研究における研究デザインの違いを、具体例を用いて説明できる。
10月13日	生涯を通じた健康づくり: 出生前・周産期	リプロダクティブ・ヘルスとは何か? 1994年国連人口開発会議で確立されたその概念を説明できる。 日本の合計特殊出生率の動向について、諸外国と比較して説明することができる。 健やか親子21の概要を説明することができる。
10月16日	生涯を通じた健康づくり:成人期① (日本人の健康状態・難病)	近年の主要死因別の年齢調整死亡率の推移を性別にその特徴を説明できる。 「予防医学のもっとも基本的な原理原則」を、講義で説明した例以外を用いて説明できる。 ポピュレーションアプローチとハイスコアアプローチについてテキストの事例以外で説明できる。
10月16日	生涯を通じた健康づくり:成人期② (生活習慣病のリスクと予防:総論)	疾病発生への寄与の視点から、生活習慣への働きかけの意義を具体的に説明できる。 喫煙の近年の状況とその危険因子の意義について概説できる。 血圧・食塩摂取の近年の動向とその意義を説明できる。
10月20日	生涯を通じた健康づくり:成人期③ (生活習慣病のリスクと予防:各論)	虚血性心疾患のリスクファクターについて説明できる。 特定健康診査・特定保健指導について、選定・階層化からのプロセスを説明できる。 健康日本21(第2次)の考え方、概念を図を用いて説明できる。
10月20日	公衆衛生学の基礎: 地域で公衆衛生医として働く (国際保健の立場から)	発展途上国の主な保健医療問題について説明できる。 国際協力の体系について説明できる。 日本政府の開発援助の特徴について説明できる。
10月23日	生涯を通じた健康づくり:成人期④ (メンタルヘルス)	精神保健医療福祉の現状について、社会復帰、地域移行の必要性を中心に説明することができる。 わが国のメンタルヘルスの変遷の概要を説明することができる。 わが国の自殺者数・自殺死亡率の状況について、説明することができる。
10月23日	公衆衛生学特論:難病の疫学	難病対策の五本柱を説明できる。 難病の調査および研究の推進(2014年度~)について説明できる。 難病対策における疫学データに基づく知見の重要性を、具体例を用いて説明できる。
10月27日	生涯を通じた健康づくり:高齢期② (老年症候群 老年病 高齢者保健対策)	ICFIについて図を用いて説明できる。 フレイル、または、サルコペニアのいずれかについて図を用いて説明できる。 「愛こそは想像力です」を高齢者保健のにならず公衆衛生の視点から論ずることができる。
10月27日	公衆衛生学特論:医療経済	国民医療費について動向や内訳について説明できる。 医療保険のモラルハザードについて説明できる。 わが国の医療保険の成果について説明できる。
10月30日	生涯を通じた健康づくり: 学童期・思春期・青年期	健康な生活を送るために、児童生徒に必要な力(*「現代的健康課題を抱える子供たちへの支援ー養護教諭の役割を中心として」平成29年3月文部科学省)とその支援体制について説明できる。 学校三師の主な役割と職務について具体的に説明できる(学校健康安全法)。 学齢期の好発疾患について、年次推移と近年の傾向について説明できる(文部科学省「学校保健統計」)。
10月30日	公衆衛生学の基礎: 地域医療を担う医師として働く (病院医師として)	心臓リハビリテーションの流れについて説明できる。 心疾患患者になぜ心臓リハビリテーションが必要か具体的に論じることができる。 フレイル、サルコペニアと心疾患の関連を説明できる。
11月6日	公衆衛生学の基礎: 地域で公衆衛生医として働く (保健所の立場から)	保健所の業務について説明できる(地域保健法、第6条)。 健康危機管理とは何か説明できる(地域健康危機管理ガイドライン)。 地域包括ケアシステムとは何か、説明できる。 リスクの定義について説明できる。
11月6日	公衆衛生学特論:原子力災害の公衆衛生	リスクコミュニケーションについて説明できる。 リスクが過大視される場合について具体例を挙げて説明できる。
11月13日	生涯を通じた健康づくり:高齢期④ (介護予防)	介護保険制度の概要について説明できる。 介護保険制度における医師の役割について説明できる。 介護保険制度が「予防重視システム」に転換されるに至った経緯や意義について説明できる。
11月13日	公衆衛生学の基礎: 地域で公衆衛生医として働く (研究者の立場から)	医師の「エビデンス、ガイドライン、政策」との関わりを説明できる。 公衆衛生事業の進め方(考え方)と健(検)診の有効性評価を説明できる。 地域で働く公衆衛生医の実例から、印象に残ったエピソードを書きなさい。